

林業遺産に認定された林業教育資料

この資料館に所蔵されている沢山の資料の収集は、木曾山林学校の第2代・江畑校長が、創立10周年に際して『岐蘇校友』誌上で述べた次の言葉から始まりました。

「…林学は日が浅く教授資料が必要である。…広く各地方の林業関係の標本が必要である。…特に全国各地にいる卒業生にあっては、ぜひその地にある森林植物のさく葉、樹実、材鑑はもちろん、樹病、害虫ならびに鳥獣、森林工芸、林産製造品を送ってほしい…」

大正元年、校舎が新開村杭の原に移転したときに「林業標本室」が設けられ、それ以降100年以上にわたって、標本資料が次第に増えながら受け継がれてきて、現在の「木曾山林資料館」になったのです。



木曾山林学校 第2代校長 江畑 猷之允
えばた ゆうのじょう

そして平成26年3月、これらの林業教育資料が日本森林学会によって「林業遺産」に認定されました。教育資料が遺産に認定されたことは画期的と言えるでしょう。

その資料の中には、生徒が残したノートやびっしり書き込みのある教科書、生徒・教職員・卒業生らが力を合わせて作りつづけた雑誌（校友会報・岐蘇林友等）もあり、それらを丹念に読んでいくと、その当時の生徒の勉学への真摯な姿が胸に伝わってきます。

（こうした資料は、コピーしたものを、手にとって見るができます。）



ACCESS



JR 中央本線 木曾福島駅下車
駅前よりバス約10分、徒歩約30分
※バス停「信州木曾看護専門学校」
または「黒川渡ダム」下車



自動車
国道19号木曾大橋信号を
高山・開田高原方面へ約250m



木曾山林資料館のご案内

開館日：4月～11月の毎週土曜日

時 間：午前 9:30～午後 4:00

入館料：無料

木曾山林資料館

〒397-8567

長野県木曾郡木曾町新開 4236

木曾青峰高校新開キャンパス内

演習林管理棟 2 階

TEL：0264-22-2007

FAX：0264-22-2007

URL：http://kisosanrin1901.org/

eMail：mail@kisosanrin1901.org

このリーフレットは、旧木曾山林高校同窓会（蘇門会）が初版を作成し、木曾山林資料館が修正印刷しています。



ホームページはこちら



木曾山林学校

実業学校における林業教育発祥の地
木曾山林学校、一〇八年間の記録

林業遺産に認定 木曾山林資料館



Kiso-sanrin High school
1901-2009

長野県木曾青峰高等学校

木曾山林資料館の成り立ち

明治 34 年 (1901) 創立
日本で一番古い実業学校の林業科

木曾山林資料館は、木曾青峰高等学校の生徒が、授業において学習を深めることを目的に設置されたものであり、近代林業教育の足跡を示す貴重な資料を見ることができます。

この資料館には、平成 21 年 3 月に閉校となった木曾山林高等学校に残されていた「標本室」を母体に、蘇水会館 (同窓会館) に所蔵されていた資料と創立 100 周年のときに整理された資料・書籍等が納められております。

生徒のみならず一般の方々、同窓会員の皆さまにも是非ご覧いただければ幸いです。



展示室のご案内

木曾山林資料館の展示物は、2つの展示室に分かれて展示されています。

第一展示室はメインの展示室です。このたび、「林業遺産」に認定された林業教育資料と、その林業遺産を生み出した木曾山林学校・高校の 108 年にわたる歩みが、この第一展示室に展示されています。

第二展示室は木曾に関わる方々の手による美術工芸品ならびに著作物が展示してあります。中央のスペースでは企画展・特別展がその都度開催されます。

そして資料館の目の前には明治 35 年 (1902) 以来使われてきた演習林が広がっています。

明治～大正期に校友会が発行した
164 号におよぶ雑誌



大正時代の各地の林業 (写真)



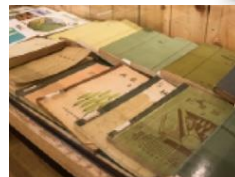
卒業生がそれぞれの任地から
送ってきた木材標本 (材鑑)



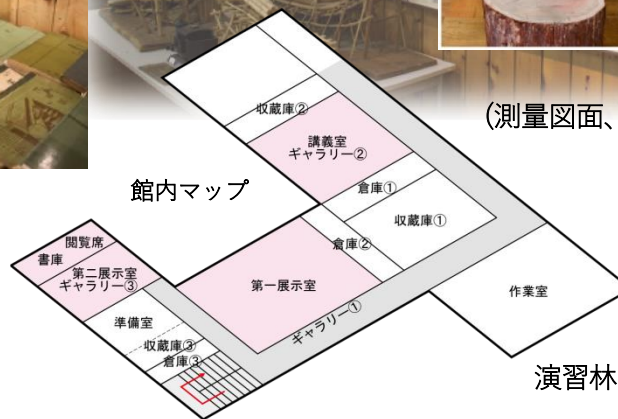
木曾五木の木材標本各種



明治～大正～昭和へと続いてきた
林業教科書の数々



館内マップ



ドイツ林学の原書



測量、測樹等の
器械・用具



演習林の鳥獣標本、植物、材鑑
きのこ、種子等の標本

生徒の作品
(測量図面、測樹図面、さく葉等々)



木曾の山道具
吉野林業の山道具

